

Learning Assistant

LA 活動報告

本学LAがさまざまな場面で活躍しています。

(1)九州(熊本)での交渉学セミナーに参加しました

12月5日、熊本市にある富士ゼロックス株式会社において、VHP 交渉学コミュニティ主催の交渉学勉強会があり、昨年に引き続き、本学LAが活躍しました。

参加者数は26名(=社会人 21名+学生 5名)でした。学生の内訳は関西大学LAが2名(松田、大早)、追手門学院大学生1名、熊本学園大学1名、熊本県立大学1名であ

り、これから交渉学を学ぼうとする社会人に対して、アクティブ・ラーニングによる交渉学の学びの導入と、グループワークでのファシリテーションを行いました。



(2)九州(博多)での交渉学セミナーに参加しました。

12月6日、前日の熊本市の交渉学勉強会に引き続き、博多市にある富士ゼロックス福岡株式会社で、交渉学コミュニティ主催の交渉学セミナーがあり、昨年度に引き続き本学LAが参加しました。

参加者数は26名(=社会人 23名+学生 3名)でした。学生の内訳は関西大学LAが2名(松田、大早)、追手門学院大学生1名でした。

これから交渉学を仕事の場で活用しているという社会人に対して、大学生のアクティ

ブ・ラーニングによる交渉学の学びの実践紹介、大学生活、日常生活における交渉学の学びの活用事例を学生目線でわかりやすく、スキットを交えてプレゼンテーションを行いました。

後半では社会人と学生が混合チームを構成し、交渉学のケーススタディ事例を使い、グループワークでのディスカッション、ロールプレシミュレーションによる臨場感ある模擬交渉を体験しました。本学LAもファシリテーター兼チームメンバーとして体験学習に参加

し、日頃の交渉学、クリティカルシンキングの授業での経験が役立っていました。



(3)京都大学の授業に参加しました。

12月3日、スタディスキルゼミ(交渉学入門)非常勤講師の松木氏が京都大学の交渉学のゲスト講義を行いました。京都大学「情報と知財」という授業(情報学研究科田中克己教授・谷川英和講師担当)で、著作権、

特許、知財管理、個人情報保護、情報セキュリティ、情報倫理に関する分野で活躍する著名人がゲストスピーカーとして講演・討論を行う授業です。アクティブ・ラーニング型交渉学教育の一環として、交渉学LAの田中

真奈(2年)さんが関西大学におけるアクティブ・ラーニングの実践経験を豊かにするため、ファシリテーターとして参加しました。写真はその授業の様子です。



(教育推進部 三浦 真琴)